				序	凡	は じ
第四節	第三節	第二節	第一節	章	例	はじめに…
本書の構成 10	研究法と史料の扱い。	先行研究の整理 8	研究の目的と意義。	章		

目

次

				第一										第一
	第二	第一	本章	章	本章		第四節		第三節		第二	第一	本章	章
一 青島戦役における陸軍航空隊の活動/ 一 青島戦役における戦訓	節 第一次世界大戦と陸軍航空 58	節 第一次世界大戦における航空戦力 55	-の概要 54	第一次世界大戦、シベリア出兵と陸軍航空4	本章のまとめ 46	一 航空器材の補給・整備の方法/ 一一 航空器材の補給・整備上の課題	[節 初期の陸軍航空器材の補給・整備 38	一 航空要員の補充・養成方法/ 二 航空要員の補充・養成上の課題	節 初期の陸軍航空要員の補充・養成 27	一 臨時軍用気球研究会の発足/ 一一 陸軍航空組織の課題	節 初期の陸軍航空組織 20	節 第一次世界大戦以前の世界の航空界 16	- の概要 15	初期陸軍航空の実情と課題

 \equiv

航空器材の輸入停止と航空器材国産化の試み

三 フランス航空教育団の講習への評価

陸軍航空発展の契機	大正六年特別大演習と航空関係組織の改編 131	大正六年特別大演習における飛行機事故/ 二 陸軍航空関係組織の改善		進国からの影響(一) イタリア 146	ニタリ	ニタ	(二) イタリ
			祖織の改編 産軍航空	イタリアニ組織の改	(保組織の改名)	イタリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	イタリ フランニー

第

一 フランス式航空器材の採用/ 二 器材独立方針	第三節 陸軍航空器材の生産及び補給方針の変化 29	三 教範類の作成と航空運用思想の形成/ 四 航空運用思想の発展と航空教育上の制約	一 「航空術修業員分遣規則」の制定/ 一一 陸軍航空学校の新設と航空教育の専門化	第二節 陸軍航空要員の補充と養成方針の変化 201	三 陸軍航空部新設の評価とその後の課題	一 陸軍航空部隊の拡大と編制分科の始まり/ 二 陸軍航空部の新設とフランス式の採用	第一節 陸軍航空の近代化の始まり 192	本章の概要 191	第四章 陸軍航空の近代化	本章のまとめ 176
									191	

第一節 陸軍航空における航空の独立管理への模索本章の概要 24

第五章 陸軍航空の独立と外部資源活用の模索・

254

本章のまとめ

240

三 整備方法の模索/

四

航空器材整備の課題

255

ix

宇垣軍縮と陸軍航空本部の発足/

陸軍航空関係行政組織の改編の功罪

第二節 民間航空基盤の育成 274

世界の民間飛行界の状況/ 日本の民間航空界の状況

 \equiv

航空局設置と民間航空活用の模索

兀

民間航空活用上

の問題

海軍の飛行機に対する関心と陸軍からの評価 海軍航空基盤の活用 301 陸軍による独立空軍創設の模索と海軍の反発

本章のまとめ 三「現制維持」の結論とその要因 324

帝国陸軍の航空建設期における課題と対応の分析

345

終章

各章の整理 井上幾太郎の改善案とその達成度合 346

第三節 第一次世界大戦の教訓から陸軍航空が目指したもの

353

349

第四節 制約要因と推進要因 357

制約要因/ 推進要因

第五節 現代へのインプリケーション

366

х

		索	あと										付
事項索引	人名索引	引 :	あとがき…	付 録 9	付 録 8	付 録 7	付 録 6	付 録 5	付 録 4	付 録 3	付 録 2	付 録 1	録 :
索引	索引			9 「空軍組織問題に関する特別委員会の意見 (概要)」	8 民間航空事業監督奨励に就て	7 航空兵科独立をめぐる井上少将とフォール大佐のやりとり	6 「日本陸軍航空に関する仏国『ジョノー』少佐の意見」	5 飛行機・発動機の名称 (一九二一年一〇月二七日)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 軍用飛行機及び発動機の種類 (一九二○年一○月一五日) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 陸軍航空・飛行学校における教育 (一九一九年~一九二四年) · · · · · · ·	2 「発動機製作班に関する仏国航空団終末報告 (抜粋)」	1 「航空制度改善に関する意見」	
													:
417	420	420	403	397	394	391	389	388	387	384	382	376	375